

第27回新潟哲学思想セミナー

Niigata Philosophy Seminar

ギリシア哲学史の可能性

16:30-17:20

栗原 隆 (新潟大学)

色と心——ヘーゲルによる
ゲーテの『色彩論』の受容
をめぐって

講師 納富信留 (東京大学教授)

17:30-19:30

納富信留 (東京大学)

ギリシア哲学史の可能性

18:30-19:30

フリーディスカッション

司会：宮崎裕助 (新潟大学)

2017

9.14

16:30-19:30

新潟大学
五十嵐キャンパス
総合教育研究棟
D棟1階大会議室

入場無料、事前予約不要。お気軽にご参加ください。

主催：新潟大学哲学思想セミナー

共催：新潟大学間主観的感性論研究推進センター／同 人文学部哲学・人間学研究会

お問い合わせ：宮崎裕助 (E-mail: yusuke@human.niigata-u.ac.jp)

講演会概要

古代ギリシア哲学を過去の思想としてではなく、生きた思索の場に生かすために、私たちはどう考えるべきか。プラトンやアリストテレスといった偉大な哲学者だけでなく、ギリシアの哲学を全体として捉える視野を「複眼的ギリシア哲学史」として提案したい（本発表会は、5月20日の日本哲学会大会シンポジウムでの報告内容を発展させるものである）。

【納富信留氏プロフィール】

1965年生まれ。東京大学文学部教授。東京大学大学院博士課程を経て、英国ケンブリッジ大学古典学部にてPh.D.を取得。専門は、西洋古代哲学、西洋古典学。古代ギリシアの知的潮流のなかで、いかにして哲学（フィロソフィア）が誕生したのかを明らかにすることを研究テーマとしている。国際プラトン学会（元会長）など、海外でも势力的な研究活動を展開している。著書に『ソフィストと哲学者の間』（名古屋大学出版会、2002年）、『ソフィストとは誰か？』（ちくま学芸文庫、2015年）他。

